

## 第6学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 〇校時

場 所 6年〇組教室

授業者 〇 〇 〇 〇

### 1 主題名 法やきまり、権利と義務 「C-(12)規則の尊重」

### 2 ねらいと教材

#### (1) ねらい

よりよい集団生活を送るために、自分に課せられた義務をしっかりと果たそうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

#### (2) 教材名

「星野君の二るい打」(東京書籍 新しい道徳6)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は、小学校学習指導要領特別の教科道徳、内容項目C-(12)「規則の尊重」の「法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと」を受けている。

児童が成長することは、同時に所属する集団や社会を構成する一員として集団や社会の様々な規範を身に付けていくことでもある。そのためにも、法やきまりが、個人や集団が安全にかつ安心して生活するためにあることを理解し、それらを進んで守り、自他の権利を尊重するとともに義務を果たすという精神をしっかりと身に付けるように指導する必要がある。本時で言う義務は「ルールを守ること」と捉える。

6年生の段階は、日常生活において、権利や義務という観点から、自他の行動などについて考えを深めたり、それらを尊重したりすることは少ない。人と人が仲間をつくり、よりよい人間関係を形成するためには、自分の思いのままに行動するのではなく、集団や社会のために自分が何をすればよいのか、また、自分に何ができるのか、自他の権利を十分に尊重する中で果たすべき自らの義務を考え、進んで約束やきまりを守って行動する態度を養うことが必要であると考え、本主題を設定した。

#### (2) 児童のこれまでの学習状況や実態

本学級の児童は、委員会活動や当番活動に意欲的で、決められた自分の役割をしっかりと果たそうとする姿が多く見られる。規範意識が高く、ルールは守らなくてはいけないものだと思っているため、なぜ守らなくてはいけないのかまで意識して行動していないと考えられる。また、単学級のため親しい仲間への甘えから、自分がやらなくてはいけないことを人に任せたり、義務をなおざりにして権利だけを主張したりする姿も見られる。

児童は5年生の「駅前広場はだれのもの」「これって『けんり』?これって『ぎむ』?」の授業において、「社会生活を送る上で必要であるきまりや、法律などを進んで守り従うという遵法の精神をもつこと」、「他人の権利を理解、尊重し、自分の権利を正しく主張すること」、「義務を遂行しないで権

利ばかりを主張していたのでは社会は維持できないこと」について学習してきている。今年度の「ピアノの音が」の授業で学習した、「みんなでお互いの権利を尊重し合い、自らの義務を進んで果たすことが大切であることを理解すること」をさらに発展させ、本時の学習では「自分に課せられた義務についてはしっかり果たそうとすること」まで考えさせたい。また、義務をしっかり果たすことがよりよい人間関係をつくり、安心して生活できるようになることに気付かせたい。さらに、中学校で扱う「自他の権利を大切にし、義務を果たすことで、互いの自由意志が尊重され、結果として規律ある安定した社会が実現すること」を理解することにつなげたい。

### (3) 使用する教材の特質

本教材は、野球の試合で星野君がチームのルールを破ってヒットを打った出来事を通して、規則の尊重について考えさせることができる教材である。

ある日の試合で、星野君は監督からバントの指示を出されるが、「打てそうな気がする」という自分の思いから打撃に出る。結果、二塁打を打ちチームの勝利に貢献する。しかし、「チームのルールを破り規則を乱した」という理由で次の試合は控えになるという話である。

監督の言葉を通して、「規則やきまりを守る意義」や「よりよい人間関係を形成するために必要なこと」に気付かせることができる教材であると言える。

### (4) 指導観

本時の指導に当たっては、本学級には野球やバレーボールのスポーツ少年団に所属している児童が多く、児童にとって身近な教材であると言える。自分たちの生活や小学校生活最後の1年だということ想起させることで、登場人物の心情や考えを自分との関わりで考えさせたい。

監督がチームのメンバーにルールについて問い掛けた場面を中心場面とし、ルールの意義について考えさせることを意識して授業を展開したい。また、一時的な良さだけではなく、自分の行動がどんな結果につながっていくのか考えさせるための問い返しの発問を用意し、試合中とその後の二つの視点で考えさせることで、規則を守ることの大切さ、自分の行動が集団生活の善し悪しに関わっていることに気付かせたい。

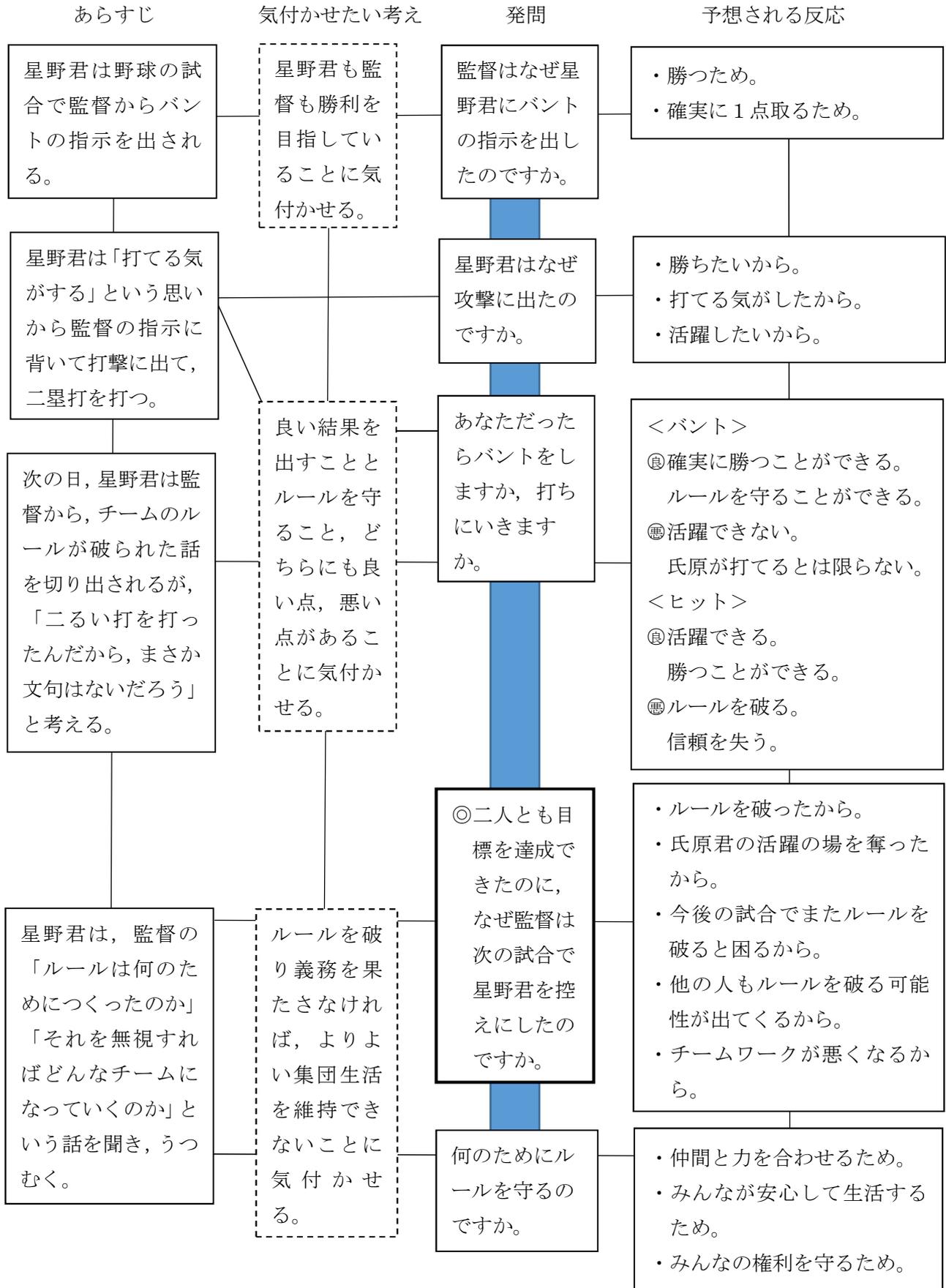
児童の学習状況を見取るために、座席表とワークシートを活用する。「自分が選択した行動にも良くない点があること」や「何のためにルールを守らなくてはいけないのか」など、葛藤の中の児童の考えを見取るために、児童の発言や話し合いの様子を座席表に記号で記すことができるようにする。また、TTを活用し、発言が少ない児童の表情やつぶやきを見取ることができるようにする。

4 教材分析・発問構成 . . . 別紙

5 学習指導過程 . . . 別紙

6 他の教育活動との関連 . . . 別紙

(別紙) 4 教材分析・発問構成



(別紙) 5 学習指導過程

	学習活動	○主な発問 (◎中心的な発問) ●補助発問 ・児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。(一斉)  2 課題をつかむ。(一斉)	○良いクラスにしていくために、あなたはどんなことができますか。 ・友達に優しくする。 ・友達と協力する。 ・何事も全力で取り組む	今年度は小学校生活最後の1年だということを想起させ、本時の課題に対して問題意識を持たせる。(問)
	よりよい集団生活を送るために大切なことは何だろう。		
展開 30分	3 範読を聞き、登場人物とそれぞれの考えを捉える。(一斉)  4 星野君も監督も勝利を目指していることに気付く。(一斉)  5 良い結果を出すこととルールを守ること、どちらにも良い点、悪い点があることに気付く。(一斉)	○監督はなぜ星野君にバントの指示を出したのですか。 ・勝つため。 ・確実に1点取るため。 ○星野君はなぜ打撃に出たのですか。 ・勝ちたいから。 ・打てる気がしたから。 ・活躍したいから。 ●星野君がバントをしても氏原君が打って勝てたのではないですか。 ○あなただったらバントをしますか、打ちにいきますか。 <バント> 良い点 ・確実に勝つことができる。 ・ルールを守ることができる。 悪い点 ・活躍できない。 ・氏原が打てるとは限らない。	・スポーツ少年団に所属している児童が多いので、自分たちの生活を想起させる。 ・星野君の気持ちを考えさせながら範読を聞かせる。  ・監督も星野君も「勝つ」という目標に向かって取り組んでいたことを確認する。  ・「自分が活躍したい」という気持ちが出なかった場合のために補助発問を用意する。
			ワークシートに「バントをする」「打ちに行く」「選ぶことができない」から選ばせ、自分との関わりで考えさせる。(自)  ・「選ぶことができない」を選んだ児童がいれば、理由を聞き、どちらにも良い点、悪い点があることに気付かせる。

<p>展 開 30 分</p>	<p>6 ルールを破り義務を果たさなければ、よりよい集団生活を維持できないことに気付く。 (グループ→一斉)</p>	<p>&lt;ヒット&gt; 良い点 ・活躍できる。 ・勝つことができる。 悪い点 ・ルールを破る。 ・信頼を失う。</p> <p>◎二人とも目標を達成できたのに、なぜ監督は次の試合で星野君を控えにしたのですか。 ・ルールを破ったから。 ・氏原君の活躍の場を奪ったから。 ・今後の試合でまたルールを破ると困るから。 ・他の人もルールを破る可能性が出てくるから。 ・チームワークが悪くなるから。 ●ルールを守らなければどんなチームになると思いますか。 ●監督は試合に勝つことだけでなく、どんなことを目標にしていたのでしょうか。</p> <p>○何のためにルールを守るのですか。 ・仲間と力を合わせるため。 ・みんなが安心して生活するため。 ・みんなの権利を守るため。</p>	<div data-bbox="1054 159 1426 371" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分が選んだ行動の悪い点も考えさせることで、多面的・多角的に捉えさせる。(多)</p> </div> <p>・良い点・悪い点を出すことで、どちらかだけが正しいと言い切れない選択の難しさに気付かせる。</p> <div data-bbox="1054 636 1426 853" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ルールを守ることの理由を一時的な良さだけではなく、その後どんな結果につながっていくのかを考えさせる。(多)</p> </div> <div data-bbox="1054 864 1426 1205" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>&lt;評価&gt; ルールを守ることの良さについて、一時的な良さだけではなく、その後どんな結果につながっていくのかを多面的・多角的に考えようとしていたか。(多) 【発言・観察】</p> </div> <p>・ルールを破ってはいけない理由を、一時的な良さだけではなく、その後どんな結果に繋がっていくのかに気付かせるために問い返しの発問を用意する。 ・一時的な良さとその後の結果についての意見を分けて板書することによって、長期的な見方の大切さに気付かせる。 ・ルールを守る良さに気付かせる。</p>
-----------------------------	--	--	---

終 末 10 分	7 自己の生き方について考 える。 (一斉)	○本時を振り返り、「よりよい 集団生活を送るために大切 なこと」について考えたこと を書きましょう。 ・決められたことは守らなくて はいけないと思ってしまし たが、なぜ守らなくてはいけ ないかは考えていませんで した。みんなが安心して過ご すことができるようにルー ルを守っていきたいです。 ・結果が大切だという気持ちも 分かりますが、自分がやるべ きことをやらないとその後 の生活に影響が出てしまう ので、ちゃんとやろうと思 います。 ・試合に勝つことより、もっと 大切なことがあることが分 かりました。これからはルー ルを守りたいです。	・「よりよい集団生活を送る ために大切なこと」につい て本時で考えたことを振り 返らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">よりよい集団生活を送るた めに大切なことについて書 かせることで、自分の生活 を振り返り、自己の生き方 についての考えを深めさせ る。 (自)(生)</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">&lt;評価&gt; よりよい集団生活を送るた めに大切なことを自分との 関わりで考え、今後の生活 にどのように生かすかを考 えようとしていたか。 (自)(生)【ワークシート・ 観察・発言】</div>
-------------------	---------------------------	--	---

(問)：問題意識を持たせる

(多)：多面的・多角的に考えさせる

(自)：自分との関わりで考えさせる

(生)：自己の生き方について考えさせる

**【評価】**

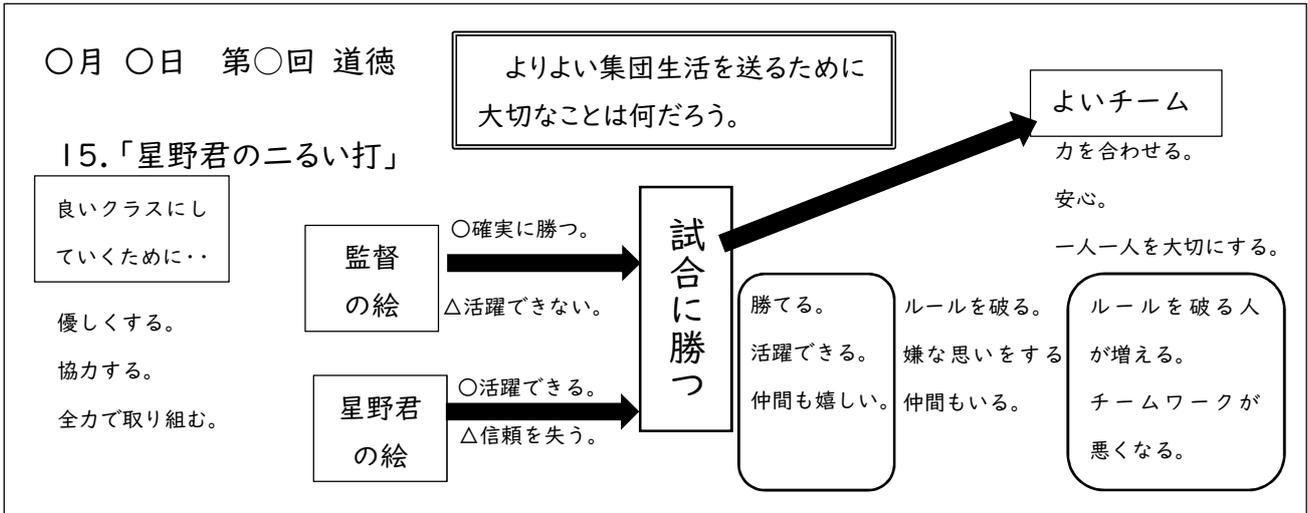
<児童の評価>

- ・ルールを守ることの良さについて、一時的な良さだけではなく、その後どんな結果につながっていくのかを多面的・多角的に考えようとしていたか。 (多)【発言・観察】
- ・よりよい集団生活を送るために大切なことを自分との関わりで考え、今後の生活にどのように生かすかを考えようとしていたか。 (自)(生)【ワークシート・観察・発言】

<教師側の授業評価>

- ・ルールを守ることの良さについて、一時的な良さだけではなく、その後どんな結果につながっていくのかを多面的・多角的に考えさせることができたか。 (多)【発言・板書】
- ・よりよい集団生活を送るために大切なことについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方についての考えを深めさせることができたか。 (自)(生)【ワークシート・発言・板書】

【板書】



【準備物】

教師：教科書，人物絵，発問カード，ワークシート

児童：教科書，筆記用具

(別紙) 6 他の教育活動との関連

